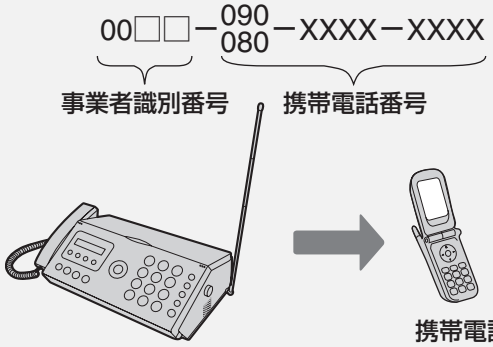
携帯電話へおトクにかける（携帯とくとくダイヤル機能）

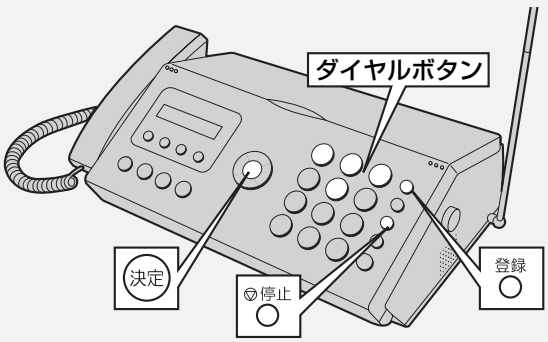
携帯電話へ電話をかけるとき、番号の前に「事業者識別番号」（例：NTT東日本0036、NTT西日本0039など）をつけてダイヤルすることにより、事業者が設定した通話料を選ぶことができます。
利用者は各社の電話料金を比べて、安い料金を選ぶことができます。携帯電話への通話料金がおトクになるサービスとして、各社が実施しています※。



IP電話をご利用の方へ

IP電話と本サービス実施事業者の料金を比較してご利用ください。IP電話事業者によっては、お安くならない場合があります。
IP電話でこの機能をご利用になるときは、「IP電話利用」（☞98ページ）の設定を［アリ］にしてください。

※ 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者へ詳細をご確認ください。



携帯とくとくダイヤル機能を設定する

事業者識別番号を登録することで、自動的に「事業者識別番号」をつけて発信することができます。
工場出荷時は、携帯とくとくダイヤル機能を、[シヨウシナイ] 設定になっています。

登録 ➡ ①(ア) ⑤(ナ) ➡
- ①(ア)：[NTTヒガシニホン0036]
- ②(カ)：[NTTニシニホン0039]

➡ 停止
- ③(サ)：[ソノタジギョウシャ] ➡ 事業者番号を入力（最大6ケタ） ➡ 決定 ➡ 停止

・ 途中でやめるとき：停止 ／1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

■ 携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは

登録 ○ ➡ ①(ア) ⑤(ナ) ④(タ) と押します。

■ 一時的に携帯とくとくダイヤル機能を利用しないときは

解除番号「0000」を発信の前にダイヤルすると、事業者識別番号は発信されません。

NTT東日本、NTT西日本のサービス提供エリア外から電話をかけたときや、事業者識別番号が正しく入力されていないときは、正しく電話がかからないことがあります。

■ 携帯とくとくダイヤルの対象番号を追加するときは（「携帯番号帯設定」 ☞98ページ）

■ 携帯とくとくダイヤルの設定を確認するときは（「現在の設定表示」 ☞98ページ）

☞お知らせ

- 通話料金、事業者識別番号、サービス内容については、サービスを実施している各通信事業者にお問い合わせください。
- 通話先・通話時間や発信事業者の料金プラン等によっては、一部安くならない場合があります。
- 携帯電話事業者の留守番電話サービスなど、一部ご利用いただけない番号があります。
  こんなときは「0000」をダイヤルしてからご利用ください。
- 本サービスを利用した場合、携帯電話への通話料金は、利用した事業者から請求されます。
- 本サービスは、マイラインの対象になりません。
- 他のサービスと同時には、ご利用になれないことがあります。詳しくは、各通信事業者にお問い合わせください。
- 携帯とくとくダイヤル機能を設定しているときは、読上げボイスダイヤル機能が働きません。
- ひかり電話をご利用のときは、携帯とくとくダイヤル機能はご利用になれません。

子機を増やす

増設する子機について

●増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて最大４台までです。
UX-F15CLはあと３台まで、UX-F15CWはあと２台まで増設できます。
●増設できる子機はCJ-KS80、CJ-KS60、CJ-KS50、CJ-KS7です（☞94ページ）。
他の子機は増設できませんのでご注意ください。

※ 子機を増設しても子機間通話はできません。

※機種によっては、生産が完了している場合もあります。あらかじめ在庫等を販売店にお確かめの上、お買い求めください。

●子機を増設する方法は、増設子機に付属している「子機増設登録操作説明書」をご覧ください。
（CJ-KS7を増設されるときは、増設登録手順タイプＡをご覧ください。）
●増設した子機によって操作が異なりますので、詳しくは増設子機の取扱説明書をご覧ください。

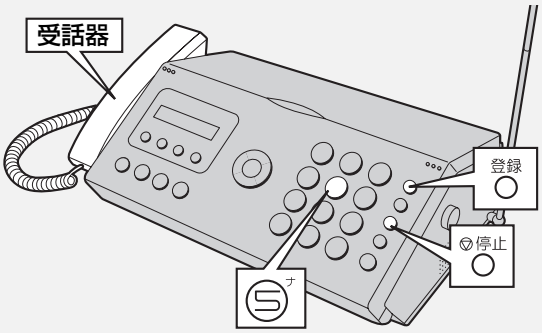
●UX-F15CL/UX-F15CWに増設した場合の機能比較

機能名		付属の子機	CJ-KS80	CJ-KS60	CJ-KS50	CJ-KS7	参照ページ
電話機能	電話帳機能	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	○（100人）	37
	漢字表示	×	○	×	×	○	― ― ―
	電話帳転送（親機⇔子機）	○	○	○	○	○	40
	再ダイヤル	○（3件）	○（10件）	○（3件）	○（3件）	○（10件）	28
	ダイヤルボタン点灯	×	○	×	×	○	― ― ―
	優先呼出	○	○	○	○	○	66
	モーニングコール	○	○	○	○	○	66
	子機間通話（トランシーバー方式）	×	○※	○※	○※	×	― ― ―
	子機間ひと声通知	○	×※	×※	×※	○	34
	受話音量切換	特大・標準	特大・大・標準	特大・大・標準	特大・標準	特大・標準	25
ナンバーディスプレイ関連	番号・名前表示	○	○	○	○	○	70
	着信記録	○	○	○	○	○	71
	着信鳴り分け	○	○	○	○	○	73

※ 両方の子機がCJ-KS50、CJ-KS60、CJ-KS80のいずれかの場合、子機間通話はトランシーバー方式になります。
片方の子機がCJ-KS50、CJ-KS60、CJ-KS80以外の場合、子機間ひと声通話ができます。

通話内容や伝言メモを録音する（親機）

すべての録音を合わせて最大約12分間録音できます。録音できる件数は最大30件までです。1件の録音時間は、[30ビョウ] です（録音時間を1分または2分に変更できます。「録音時間」☞96ページ）。



通話内容を録音する

通話中に 登録 ○ ➡ Ⓢ ナ ➡ **録音が終わったら** 停止 ○

・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

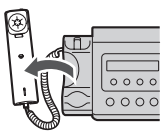
■ 録音内容を再生するときは（☞45ページ）

■ 録音内容を消去するときは（☞46ページ）

■ [ロクオンデータ ホゾン中] と表示されているときは

録音した内容をメモリーに保存しています。このメッセージが表示されている間は、電話の着信以外の操作はできません。
また、このときの着信音は、他の着信音に設定していても [デンワベルオン] になります。

伝言メモを録音する



➡ 登録 ○ ➡ Ⓢ ナ ➡ **受話器で伝言を録音する** ➡ **録音が終わったら** 停止 ○ ➡ **受話器を置く**

・日時と件数が自動的に録音されます（日時スタンプ機能）。

■ 伝言メモを録音中に電話がかかってきたときは

録音は自動的に止まります。一度受話器を戻してから受話器を取って通話します。

お知らせ

- 内線通話の録音はできません。
- 子機で通話や伝言メモを録音することはできません。
- ファクスのメモリー受信データや留守番電話の用件録音などがあると録音できる時間が少なくなります。
- 1件の録音時間が長いと録音できる時間が減り、30件録音できないこともあります。

親機をもっと便利に使う

FAX受信方法

ファクスの受信方法を、以下のいずれかに設定できます。

[メモリージュシン]：受信した内容をメモリーに記録してから、自動的にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。

[キロクシジュシン]：受信した内容を、直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときは受信できません。受信メモリーが残り少なくなっているときなど、メモリー受信できないときに設定します。ただし2枚に分かれてプリントされることがあります。また、原稿がA4より長いときなどでは、メモリー受信したものに比べて、横方向に筋が入るなど、少し画質が劣ることがあります。

工場出荷時の設定は [メモリージュシン] です。

登録 ○ → ⑧(ヤ) ①(ア) ①(ア) → ①(ア)：**[メモリージュシン]** / ②(カ)：**[キロクシジュシン]** → 停止 ○

終了音

コピーの終了後や、ファクスの送受信後に鳴る終了音を、以下のいずれかに設定できます。

[オンセイ]　：「音声」でお知らせします。ただし、コピー時の終了音は [トリノコエ] になります。

[トリノコエ]　：「鳥の声」でお知らせします。

[アラームオン]：「ピー」という音でお知らせします。

[ナシ]　：終了音を鳴らしません。

工場出荷時の設定は [オンセイ] です。

登録 ○ → ⑧(ヤ) ①(ア) ②(カ) → ①(ア)：**[オンセイ]** / ②(カ)：**[トリノコエ]** / ③(サ)：**[アラームオン]** / ④(タ)：**[ナシ]** → 停止 ○

キータッチ音

親機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。

工場出荷時の設定は [アリ] です。

登録 ○ → ⑧(ヤ) ③(サ) → ①(ア)：**[アリ]** / ②(カ)：**[ナシ]** → 停止 ○

読上げボイスダイヤル

親機で電話をかけるときやファクスを送るとき、押したダイヤルボタンの番号を音声（読上げボイス）でお知らせすることができます。

1：「イチ」　2：「ニ」　3：「サン」　4：「ヨン」　5：「ゴ」　6：「ロク」　7：「ナナ」
8：「ハチ」　9：「キュウ」　0：「ゼロ」　＊：「スター」　＃：「シャープ」　再ダイヤル ○：「ポーズ」

工場出荷時の設定は [ナシ] です。

登録 ○ → ⑧(ヤ) ⑦(マ) → ①(ア)：**[アリ]** / ②(カ)：**[ナシ]** → 停止 ○

子機をもっと便利に使う

優先呼出

電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着信音を鳴らす機能の設定ができます。
設定後、9時間経過すると自動的に解除されます。
工場出荷時は設定されていません。

機能 ➡ ○ [ユウセンヨビダシ] ➡ 機能 （※ 解除するときは、もう一度操作する）

・優先呼出を設定したあとで子機の充電池を交換すると、優先呼出 の表示は消えますが、設定はそのままになります。優先呼出 を表示させるときは、解除したあと、あらためて設定してください。

クイック通話

子機を充電器から取り上げるだけで電話を受けられる機能の設定ができます。
工場出荷時の設定は [ON] です。

機能 ➡ ○ [クイックツウワ] ➡ 機能 ➡ ○ [ON] または [OFF] ➡ 機能

キータッチ音

子機のボタンを押したときに鳴る、「ピッ」という音（キータッチトーン）の有無を設定できます。
工場出荷時の設定は [ON] です。

機能 ➡ ○ [キータッチトーン] ➡ 機能 ➡ ○ [ON] または [OFF] ➡ 機能

待ち受け時間

子機の待ち受け時間の設定ができます。待ち受け時間とは、充電完了後に子機を充電器に置かずに待ち受けられる時間です。通話したり着信音が鳴ったりすると短くなります。

[ヒョウジュン]：約200時間待ち受け
[チョウジカン]：約240時間待ち受け（子機の着信音が [ヒョウジュン] よりも遅れて鳴ることがあります。）

工場出荷時の設定は [ヒョウジュン] です。

機能 ➡ ○ [マチウケジカン] ➡ 機能 ➡ ○ [ヒョウジュン] または [チョウジカン] ➡ 機能

モーニングコール

子機で、モーニングコールを設定することができます。
設定した時間になると「ピッ・ピッ…」と鳴ってお知らせします（約5分間隔で1分間・7回くり返し）。
モーニングコールの設定は、鳴り終わると自動的に解除されますので、毎日ご利用になるときはそのつど設定してください。
工場出荷時の設定は [OFF] です。

機能 ➡ ○ [アラームセッテイ] ➡ 機能 ➡ ○
- [ON] ➡ 機能 ➡ アラーム時刻を入力（24時間制） ➡ 機能
- [OFF] ➡ 機能

・アラーム音を途中で止めるとき：いずれかのボタンを押す（約5分後に再びアラーム音が鳴り始めます）

外出先から用件や伝言を聞く（リモート操作）

暗証番号を登録する

外出先から録音されたメッセージを聞いたり、その他のリモート操作をしたりすることができます。
リモート操作をするには、あらかじめ暗証番号の登録が必要です。

登録 ○ ➡ ⑧ヤ ④タ ①ア ➡ **暗証番号を入力（4ケタ）** ➡ 決定 ➡ 停止 ○

■ **登録した暗証番号を消すときは**

登録 ○ ➡ ⑧ヤ ④タ ②カ ②カ ➡ 停止 ○

■ **暗証番号を変えるときは**

もう一度暗証番号を登録（上書き）します。

■ **暗証番号を忘れたときは**

忘れた暗証番号の確認はできません。新しい暗証番号を登録（上書き）します。新しい暗証番号を登録（上書き）しても、録音内容は消えません。

外出先からリモート操作する

自宅に電話をかける ➡ **応答メッセージが聞こえている間に[#]** ➡ **暗証番号を入力** ➡ **[#]** ➡ **音声メッセージのあと、リモート操作番号を入力** ➡ **リモート操作が終わったら電話を切る**

■ **リモート操作表**

録音内容を聞く：[1][#]	
早聞きや遅聞きをする：再生中に[1][#]（押すたびに「早い」→「遅い」→「元の早さ」→「早い」…）	
録音内容を聞き直す：再生中に[3][#]	**1件前の録音を聞く**：再生中に[3][#][3][#]
次の録音内容を聞く：再生中に[4][#]	**止める**：再生中に[5][#]
再生済みの録音を消す：停止中に[0][1][#]	**録音内容をすべて消す**：停止中に[0][2][#] 未再生の録音も消えます。応答メッセージは消えません。
留守を設定／解除する：停止中に[6][#]	

■ **一般録音の内容を聞くときは**

留守に設定されているときに再生すると、留守設定以降に入った録音を一番古いものから順番に再生します（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）。
留守に設定されていないときは、未再生の一番古い録音から、それ以降の録音を順番に再生します（未再生の録音がない場合は1件目から再生）。

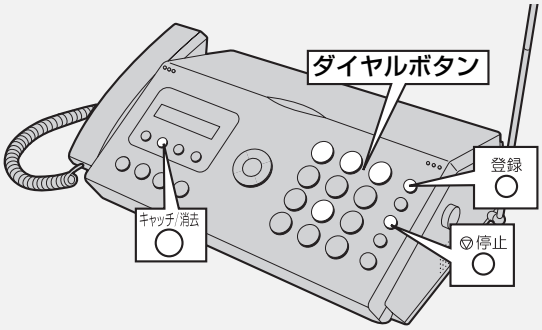
■ **トールセーバーに設定したときは**

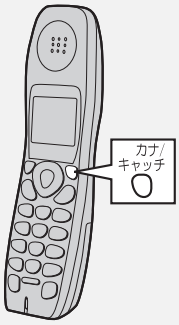
着信音が2回鳴ってもつながらないときは、留守設定後に新しく録音されていないことがわかります。3回目の着信音が聞こえたらすぐに電話を切ると通話料金がかかりません（☞43ページ）。

お知らせ

- 暗証番号を知らない人でも、偶然番号が合い盗聴されることがあります。機密の連絡用としてではなく、便利な伝言板としてお使いになることをおすすめします。
- 操作は1分以内に行ってください。1分以上あけると電話が切れます。
- 親機の「在宅時コール回数」が［ムセイゲン］のときはリモート操作できません。リモート操作をお使いになるときは、「着信音の回数を設定し、親機で電話に出ないでファクスを受ける」（☞56ページ）で着信音の回数を設定しておいてください。

キャッチホンを利用する





キャッチホンを利用する

キャッチホン（通話中着信サービス）は、電話でお話しをしているときでも、別の人からかかってきた電話に出ることができるNTTのサービスです。
ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。

通話中に着信音が聞こえたら キャッチ/消去 ○（親機） カナ/キャッチ ○（子機） ➡ **もとの通話に戻るときはもう一度** キャッチ/消去 ○（親機） カナ/キャッチ ○（子機）

■ キャッチホンを利用すると電話が切れてしまうときは／切り替わらないときは
キャッチホンの切替時間を変えることができます（「キャッチホン切替時間」☞98ページ）。

キャッチホン・ディスプレイの設定をする

キャッチホン・ディスプレイは、通話中にかかってきた相手の方の番号を確認してからキャッチホンに出ることができるNTTのサービスです。
ご利用にはNTTとの契約（有料）が必要です。詳しくはNTT窓口へお問い合わせください。
「キャッチホン・ディスプレイ」のサービスをご利用の時は、必ず設定を [シヨウスル] にしてください（はじめは、[シヨウシナイ] に設定されています）。電話を受けられないことがあります。
また、ナンバー・ディスプレイが [シヨウスル] になっていることを確認してください（☞70ページ）。

登録 ○ ➡ ⑧ヤ ②カ ③サ ➡ **キャッチホン・ディスプレイを**
①ア：**[シヨウスル]**
②カ：**[シヨウシナイ]**
➡ 停止 ○

お知らせ

- ●キャッチホンをご利用の際は、キャッチボタンをご使用ください。通話中にフックスイッチを押すとキャッチボタンや保留ボタンが使えなくなることがあります。
- ●ファクス受信中に電話がかかってくると、記録紙に線が入ったり、送受信が中断されたりすることがあります。
- ●親機で通話中にキャッチホンでファクスを受信するときは、FAXスタートボタンを押して受話器を戻さずにお待ちください。受信中に受話器を戻すと電話が切れて、もとの相手の方との通話に戻れなくなります。
- ●子機で通話中にキャッチホンでファクスを受信すると電話が切れて、もとの相手の方との通話には戻れません。
- ●キャッチホンⅡを利用して、割り込み音の回数を「0」回に設定すると、ファクス受信中に電話がかかってきても異常なく通信できます。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- ●キャッチホンでの通話中は、迷惑電話ボタンを押しても、お断りの機能は働きません。
- ●キャッチホン・ディスプレイを契約すると、キャッチホンを受けたとき、ディスプレイに相手の方の電話番号などが表示されます。
- ●キャッチホン・ディスプレイの表示の内容はナンバー・ディスプレイと同じですので、ナンバーディスプレイの表示例（☞70ページ）をご覧ください。

子機の着信音を作る（オリジナルメロディー）

子機の着信音を自分で作ることができます。

オリジナルメロディーを作る

機能 ➡ ○ [メロディトウロク] ➡ 機能 ➡ テンポを入力（40～190） ➡ 機能 ➡ メロディーを入力 ➡

○ を押して次の音を入力 ➡ すべてのメロディー（最大60音）入力後、機能 ➡ ○ 登録するとき：[トウロク] ➡ 機能

テンポの入力からやり直すとき：[ヘンコウ] ➡ 機能

■ 登録済みのオリジナルメロディーを変更／修正するときは

上記の操作でメロディーの変更画面を表示したあと、音の削除や追加を行います。

■ オリジナルメロディーを消去するときは

新しく登録したいときは、消去してから作り直します。

機能 ➡ ○ [メロディショウキョ] ➡ 機能（2回）

ボタン	機能（M：中音／H：高音／L低音／＃：半音）
1 ア	Mド → Mド# → Hド → Hド# → Lド → Lド#
2 カ	Mレ → Mレ# → Hレ → Hレ# → Lレ → Lレ#
3 サ	Mミ → Hミ → Lミ
4 タ	Mファ→Mファ#→Hファ→Hファ#→Lファ→Lファ#
5 ナ	Mソ → Mソ# → Hソ → Hソ# → Lソ → Lソ#
6 ハ	Mラ → Mラ# → Hラ → Hラ# → Lラ → Lラ#
7 マ	Mシ → Hシ → Lシ
8 ヤ	ーーー>（スラー） → （スラーなし）
9 ラ	※1 .（付点） → ※2 _3（3連符） → （なし）
0 ワ	・・・・（休符）
トーン ＊	8（8分音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 2（2分音符／休符） → 4（4分音符／休符）
＃	2（2分音符／休符） → 1（全音符／休符） → 16（16分音符／休符） → 8（8分音符／休符） → 4（4分音符／休符）
内線/クリア 保留	＜短く押す＞選択中の1音を削除 ＜2秒以上押す＞全音削除
カナ/キャッチ 0	メロディー確認
○	音符スクロール

※1 付点は、2分音符／休符、4分音符／休符、8分音符／休符、16分音符／休符にのみ有効です。
※2 3連符は、4分音符／休符、8分音符／休符、16分音符／休符にのみ有効です。

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。

このサービスを利用するには、NTTとのご契約が必要です

[ナンバー･ディスプレイを利用するには]

1 NTTと契約する（有料）
右記NTT窓口にお申し込みください。

2 **本機のナンバー・ディスプレイの設定は、必要ありません。**
お買い上げ時は、ナンバー・ディスプレイの設定は [シヨウスル] になっています。

3 NTTの工事終了後に**サービスが利用できます。**
工事日数については、右記NTT窓口にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先

NTT窓口
TEL：局番なしの
116（通話料金無料）
受付時間　午前9時～午後9時
土・日・祝も受付
（年末・年始は除く）

ナンバー・ディスプレイの設定

お買いあげ時は、ナンバー・ディスプレイの設定は [シヨウスル] になっています。

登録 ○ ➡ ＃ (4回) ➡ ④タ ➡ ①ア：[シヨウスル] / ②カ：[シヨウシナイ] ➡ ◎停止 ○

電話がかかってきたときのディスプレイ表示

親機の表示	子機の表示	着信情報
電話番号		相手の方が自分の番号を通知して電話をかけた場合
相手の方の名前		電話帳に登録されている相手の方が電話をかけた場合
[ヒツウチ]		相手の方が自分の番号を通知せずに電話をかけた場合
[ヒョウジケンガイ]		相手の方が番号通知ができない地域や回線からかけた場合
[コウシュウデンワ]		相手の方が公衆電話を使ってかけた場合
[ジュシンエラー]		相手の方が発信した番号情報を正しく受信できなかった場合
[ガイセン シヨウ中]	[チャクシン]	NTTから相手の電話番号データを受信している状態

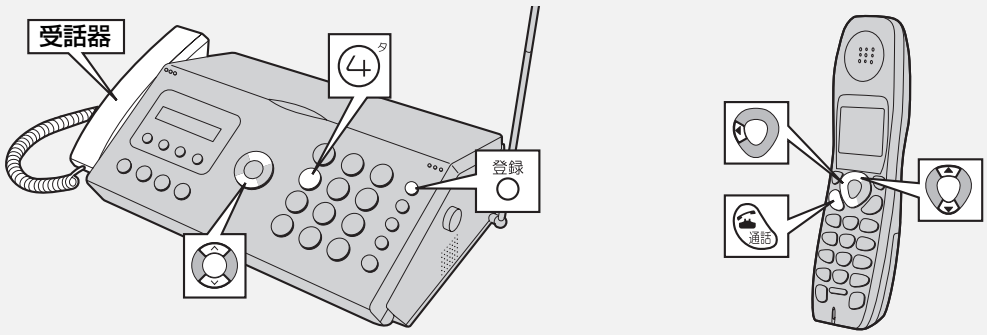
お知らせ

- 構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンに接続してお使いのときは、ナンバー・ディスプレイを [シヨウシナイ] に設定してください。
- ISDN回線でお使いになるときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタ（TA）をお使いください。
- ナンバー・ディスプレイを開始後に、ナンバー・ディスプレイの設定を [シヨウシナイ] にされていると、電話がかかってきたとき、はじめに短い着信音が5～6回鳴ります。このときに電話に出ると切れますので、通常の着信音が鳴ってから、電話に出てください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用のときは、着信音の回数（☞56ページ）や、留守モード時のコール回数（☞43ページ）を2回以上に設定してください。
- ナンバー･ディスプレイは、NTTの他のサービスと併用して使用できない場合があります。詳しくはNTTへお問い合わせください。
- ISDN 回線のターミナルアダプタのアナログポート・構内交換機（PBX）や他の通信機器に接続すると、ナンバー・ディスプレイが使えない場合があります。このときは [シヨウシナイ] に設定してください。

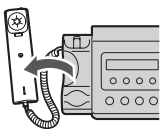
着信記録を使う

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってくると、相手の方の電話番号や着信した日時などが最大20件まで記録されます（着信記録）。
20件を超えると古い着信記録から消去されます。
着信記録を使って電話をかけたり、ファクスを送ることができます。



親機で着信記録を使って電話をかける

登録 ➡ 4 タ ➡ 選ぶ ➡  ➡ 通話が終わったら受話器を戻す

・ で1件古い着信記録、 で1件新しい着信記録を表示します。

子機で着信記録を使って電話をかける

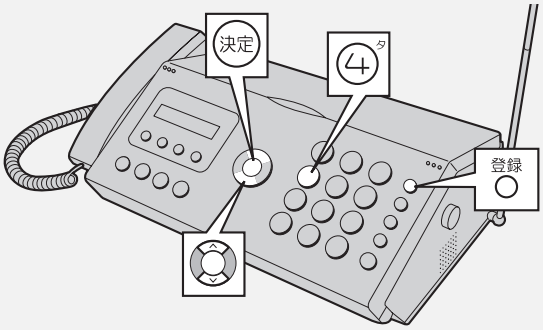
(2回) ➡ 選ぶ ➡ 通話 ➡ 通話が終わったら充電器に戻す

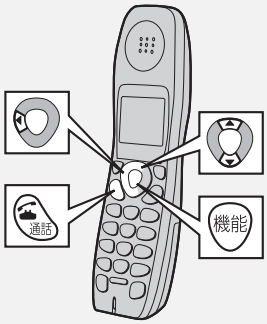
・ で1件古い着信記録、 で1件新しい着信記録を表示します。
・ 再ダイヤルを消去しているときは を1回押すとエラー音が鳴りますが、そのまま2回目を押すと着信記録を表示します。

■ 受話器を取ったあと、着信記録を使って電話をかけるときは（親機）

受話器を取る ➡ 登録 ➡ 4 タ ➡ 選ぶ ➡ 決定 ➡ 通話が終わったら受話器を戻す

184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは、上記の操作で受話器を取ったあとダイヤルしてください。





親機で着信記録を使ってファクスを送る

原稿をセットする
(☞48ページ 1 ～ 3) ➡ 登録 ➡ 4 タ ➡ **選ぶ** ➡ 決定 **(送信が始まる)**

・ で1件古い着信記録、 で1件新しい着信記録を表示します。

子機で着信記録を使ってファクスを送る

原稿をセットする
(☞48ページ 1 ～ 3) ➡ **(2回)** ➡ **選ぶ** ➡ 通話 ➡ 機能 **(送信が始まる)** ➡ **充電器に戻す**

・相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります（おまかせ送信）。

■「通信エラーがありました。」と聞こえたら（☞89ページ）

■ おまかせ送信について（☞49ページ）

■ 親機の着信記録をプリントするときは

●親機に記録紙をセットして 登録 ➡ 9 ラ 1 ア 2 カ

●親機に記録紙をセットして、着信記録の表示中に コピー/印刷

■ 親機の着信記録を消すときは

1件だけ消す：登録 ➡ 4 タ ➡ 選ぶ ➡ キャッチ/消去 (2回) ➡ 停止

すべて消す：キャッチ/消去 ➡ 2 カ 2 カ

■ 子機の着信記録をすべて消すときは

機能 ➡ [チャクシンキロククリア] ➡ 機能 (2回)

※子機の着信記録を1件ずつ消すことはできません。

■ 着信記録を電話帳に登録するときは

親機：登録 ➡ 4 タ ➡ 選ぶ ➡ 登録 ➡ 名前を入力 ➡ 決定 (2回) ➡ 停止

子機： (2回) ➡ 選ぶ ➡ 機能 ➡ 名前を入力 ➡ 機能

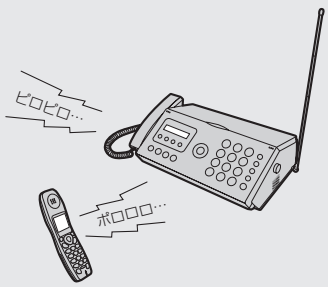
お知らせ

●着信記録は親機と子機、別々に記録しています。
●電話に出られなかったり、電話を受ける前に相手が切った場合でも着信記録が表示されます。
●親機では、[ヒツウチ オコトワリ] [コウシュウ オコトワリ] [ケンガイ オコトワリ] [オコトワリバンゴウ] を設定している場合も、着信記録が表示されます。
●親機では、ナンバー・ディスプレイを契約していないときでも、着信のあった日付・時刻を表示します。

着信の種類によって着信音を変える（着信鳴り分け）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話がかかってきたとき、着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。
親機では、「親機の電話帳に登録している方」からの着信音、子機では、「子機の電話帳に登録している方」、「非通知」、「公衆電話」、「表示圏外」の着信の種類に合わせて着信音を変えることができます。
はじめは、親機・子機とも設定されていません。



着信鳴り分けを設定したとき

親機では、親機の電話帳に登録されている方から電話がかかってくると、下記の「親機の鳴り分け時の着信音を選ぶ」で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、23ページで設定した着信音が鳴ります。

子機では、着信の種類に合わせて下記の「子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ」で設定した着信音が鳴ります。それ以外の方からかかってきたときは、24ページで設定した着信音が鳴ります。

親機の鳴り分けを設定する

登録 ○ → ⑧(ヤ) ②(カ) ①(ア) → ①(ア)：[アリ] / ②(カ)：[ナシ] → 停止 ○

・途中でやめるとき：停止 ○ ／ 1つ前に戻るとき：キャッチ/消去 ○

親機の鳴り分け時の着信音を選ぶ

登録 ○ → ⑧(ヤ) ②(カ) ②(カ) → ①(ア)～⑥(ハ) 着信音を選ぶ → 停止 ○

・途中でやめるとき：停止 ○ ／ 1つ前に戻るとき：キャッチ/消去 ○
・鳴り分け用として設定できる着信音は、「親機の着信音の種類を変える」（☞23ページ）で設定できるものと同じです。

子機の鳴り分けを設定する／着信音を選ぶ

子機では、「子機の電話帳に登録している方」「非通知の電話」「公衆電話」「表示圏外」の４種類ごとに着信音を変えることができます。

機能 → [チャクシン ナリワケ] → 機能 → [デンワチョウ] / [ヒツウチ] / [コウシュウデンワ] / [ヒョウジケンガイ] → 機能 → 着信音を聞きながら選ぶ → 機能

・途中でやめるとき：切
・鳴り分け用として設定できる着信音は、「子機の着信音の種類を変える」（☞24ページ）で設定できるものと同じです。

■ 子機の着信鳴り分けを解除するときは

着信音を選ぶときに「ピピッ」と鳴るまで ◇ で選び、機能 を押します。

お知らせ

●かかってくる相手の方ごとに着信音を変えることはできません。

非通知・公衆電話・表示圏外からの電話を受けない

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

「非通知の電話」「公衆電話からの電話」「表示圏外からの電話」に対して着信音を鳴らさずに、お断りのメッセージを流すことができます。
お買い求め時は設定されていません。

非通知お断り

登録 ➡ ⑧(ヤ) ②(カ) ④(タ) ①(ア) ➡ ①(ア) [ナシ] / ②(カ) [アリ] / ③(サ) [ヤカンノミ]（特定の時間帯のみ設定する）※ ➡ ▽停止

・設定すると、非通知の電話には、「この電話は、お受けすることはできません。おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、番号を通知しておかけ直しください」と3回流れて電話が切れます。

公衆電話お断り

登録 ➡ ⑧(ヤ) ②(カ) ④(タ) ②(カ) ➡ ①(ア) [ナシ] / ②(カ) [アリ] / ③(サ) [ヤカンノミ]（特定の時間帯のみ設定する）※ ➡ ▽停止

・設定すると、公衆電話からの電話には、「この電話は、お受けすることはできません。」と3回流れて電話が切れます。

表示圏外お断り

登録 ➡ ⑧(ヤ) ②(カ) ④(タ) ③(サ) ➡ ①(ア) [ナシ] / ②(カ) [アリ] / ③(サ) [ヤカンノミ]（特定の時間帯のみ設定する）※ ➡ ▽停止

・設定すると、表示圏外からの電話には「この電話は、お受けすることはできません。」と3回流れて電話が切れます。

※ 非通知・公衆電話・表示圏外お断りを特定の時間帯のみお使いになるときは

あらかじめ、お断りする時間帯を設定します。設定後は、お断りの設定を [ヤカンノミ] にしてください。

登録 ➡ ⑧(ヤ) ②(カ) ④(タ) ⑤(ナ) ➡ お断りの開始時間（24時間制）を2ケタ入力 ➡ お断りの解除時間（24時間制）を2ケタ入力 ➡ 決定 ➡ ▽停止

お知らせ

- お断り応答にしたときは、緊急の用件でも着信音が鳴りませんのでご注意ください。
- 非通知や公衆電話、表示圏外からの電話がかかってきたとき、着信音はこちら側では鳴りません（親機のディスプレイが点灯します）。
- 親機の日付・時刻の設定（☞26ページ）が正しく合っていないと、[ヤカンノミ] のお断りは正しく動作しません。

特定の番号の電話を受けない（特定番号お断り）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

電話を受けたくない相手先の電話番号を、「お断り番号」として30件まで登録することができます。
登録した相手先から電話がかかってくると、こちら側の着信音を鳴らさずに、相手先へお断りのメッセージを流すことができます。

お断りしたい番号を登録する

登録 → 8(ヤ) 2(カ) 4(タ) 4(タ) → 登録 → 1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9 / 0(ポーズ) **電話番号を入力（最大20ケタ）** → 決定 → 停止

・途中でやめるとき：停止 ／ 1つ前に戻るとき：キャッチ/消去

■ 特定番号お断りの内容について

「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れて電話が切れます。

■ 登録したお断り番号を1件ずつ消すときは

登録 → 8(ヤ) 2(カ) 4(タ) 4(タ) → 選ぶ → キャッチ/消去（2回） → 停止

■ 登録したお断り番号をすべて消すときは

キャッチ/消去 → 4(タ) 2(カ)

■ 登録したお断り番号のリストをプリントするときは

- 登録 → 9(ラ) 3(サ) 2(カ)
- お断り番号の表示中にコピー/印刷

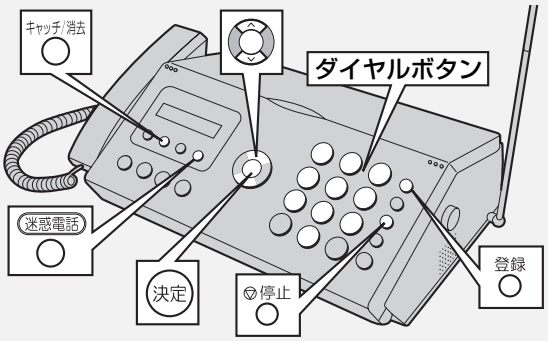
お知らせ

- お断り番号に登録されていると、緊急の用件でも着信音が鳴りませんので、ご注意ください（親機のディスプレイは点灯します）。

登録した番号からの電話のみ受ける（限定着信機能）

ナンバー・ディスプレイのご契約が必要です

あらかじめ登録した相手先からのみ電話を受けられるように設定ができます（限定着信機能）。
登録した相手先以外からの電話がかかってくると、こちら側の着信音を鳴らさずに、相手先へ留守応答メッセージを流すことができます。その場合は、スピーカーから相手の声は聞こえません。
時間設定、曜日設定することで、たとえば子供がひとりで留守番しているときでも、安心して親からの電話だけに出ることができる、といった使い方ができます。



着信させる番号を登録する

この操作で番号を登録したあと、「限定着信機能を設定する」（☞77ページ）の操作で、機能の設定をしてください。

登録 ○ → ⑧ヤ ②カ ⑤ナ ①ア → 登録 ○ → ①②③ ④⑤⑥ ⑦⑧⑨ ⓪ **電話番号を入力（最大20ケタ）** → 決定 → 停止 ○

- 途中でやめるとき：停止 ○ ／ 1つ前に戻るとき：ｷｬｯﾁ/消去 ○
- 番号の登録は最大5件です。

通話したい番号を電話帳から登録する

電話帳 → **選ぶ** → 迷惑電話 ○ → 決定 → 停止 ○

- 途中でやめるとき：停止 ○ ／ 1つ前に戻るとき：ｷｬｯﾁ/消去 ○
- 電話帳に登録している番号が21ケタ以上のときは、その番号を登録することはできません。
- 電話帳に名前を登録していても、電話番号以外は登録されません。

登録した番号を消去する

登録 ○ → ⑧ヤ ②カ ⑤ナ ①ア → **選ぶ** → ｷｬｯﾁ/消去 ○ **(2回)** → 停止 ○

- 途中でやめるとき：停止 ○

登録した番号からの電話のみ受ける（限定着信機能）

限定着信機能を設定する

登録 ○ ➡ 8(ヤ) 2(カ) 5(ナ) 2(カ) 2(カ) ➡ **開始時間を入力（2ケタ、24時間制）** ➡ **終了時間を入力（2ケタ、24時間制）** ➡

1(ア) **[マイニチ]**

決定 ➡ 2(カ) **[ゲツヨウ-キンヨウ]** ➡ 決定 ➡ ▽停止 ○

3(サ) **[ゲツヨウ-ドヨウ]**

- 途中でやめるとき：▽停止 ○ ／ 1つ前に戻るとき：キャッチ/消去 ○
- 設定した時刻になると、ディスプレイに [ゲンテイ] と表示されます。
- 時刻の設定は「時間」のみです（「分」は登録できません）。
- 日をまたいで時間を設定したときに、曜日設定の範囲を越える場合は、「曜日設定」が優先されます。
- 開始時間と終了時間を同じ時刻にすると、24時間の設定になります。

■ 限定着信機能を解除する

登録 ○ ➡ 8(ヤ) 2(カ) 5(ナ) 2(カ) 1(ア) ➡ 決定 ➡ ▽停止 ○

■ 限定着信をしている時間を確認する

登録 ○ ➡ 8(ヤ) 2(カ) 5(ナ) 2(カ) 3(サ) ➡ 決定 ➡ 確認が終わったら ▽停止 ○

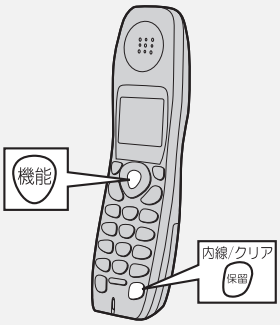
お知らせ

- 「FAX優先」または「FAX専用」（☞57ページ）に設定しているときは、限定着信機能は設定できません。
- 限定着信番号が登録されていないときは、留守録応答のみが動作します。
- 非通知・公衆電話・表示圏外お断り（☞74ページ）や、特定番号お断り（☞75ページ）が設定されているときは、お断り登録を優先し、お断りメッセージが流れます。

迷惑電話にお断りメッセージを流す

セールスや勧誘などの迷惑電話を受けたとき、通話中に来客があったようにチャイムを鳴らし、電話を切りやすくすることができます（チャイムでお断り）。また、無言電話などには、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ることができます（メッセージでお断り）。

- ナンバー・ディスプレイ（☞70ページ）を利用されているときは、電話が切れたあと、自動的にその番号をお断り番号に登録し、以降の同じ番号からの着信をお断りします。
- また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信だったときは、設定した一定時間だけ、同じ種別の着信をお断りします（迷惑電話拒否機能）。



親機で設定する

通話中に 迷惑電話 ➡

- ①（ア）：[チャイム デ オコトワリ] **チャイムが鳴るので、「すいません、来客ですので失礼します」などと伝えて電話を切る**
- ②（カ）：[メッセージデ オコトワリ] **「この電話はお受けすることはできません」と3回流れ、自動的に電話が切れる**

・ナンバーディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☞75ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、一定時間だけお断りが設定されます。

子機で設定する

子機からの操作では、「メッセージでお断り」のみ利用できます。

通話中に 内線/クリア 保留 ➡ 機能 ➡ **「この電話は、お受けすることはできません」と3回流れ、自動的に電話が切れる**

・ナンバーディスプレイに契約されている場合、相手先の番号が通知されていたときは、通話終了後にその番号がお断り番号（☞75ページ）として登録されます。また、非通知・公衆電話・表示圏外からの着信のときは、一定時間だけお断りが設定されます。

■ **自動的にお断りする時間を変更するときは**

お断りが解除されるまでの時間を変更することができます。はじめは2時間に設定されています。
[ナシ] に設定すると、通話中にお断りメッセージを流して電話を切ったあと、お断りには設定されません。
（相手先の番号が通知されていたときは、その番号がお断り番号として登録されます）。

登録 ○ ➡ 8(ヤ) 2(カ) 4(タ) 6(ハ) ➡ 1(ア) : [ナシ]　2(カ) : [2 ジカン]　3(サ) : [6 ジカン] ➡ ▽停止 ○

■ **まちがえて操作してしまったときは**

[チャイム デ オコトワリ] の操作をしたとき：

チャイムが鳴ってから10秒以内に ▽停止 ○ を押してください。

[メッセージデ オコトワリ] の操作をしたとき：

お断りメッセージが流れている間に、一度受話器を戻してから、もう一度取り上げてください。

■ **まちがえて相手先の番号がお断り番号として登録されてしまったときは**

登録されてしまったお断り番号を消去してください（☞75ページ）。
また、登録番号がわからない場合は、お断り番号リストをプリント（☞75ページ）して確認してください。

■ **まちがえて非通知・公衆電話・表示圏外のお断りが設定されてしまったときは**

非通知・公衆電話・表示圏外のお断り設定を、あらためて [ナシ] に設定してください（☞74ページ）。

■ **「チャイム後自動設定」の設定をするには**

[チャイム デ オコトワリ] をしたあとに、自動的に特定番号や非通知などのお断りを設定するかどうかを変更できます。はじめは [スル] に設定されています。

登録 ○ ➡ 8(ヤ) 2(カ) 4(タ) 7(マ) ➡ 1(ア) : [シナイ]　2(カ) : [スル] ➡ ▽停止 ○

■ **子機で通話中に「チャイムでお断り」を利用したいときは**

子機で通話中に、親機で操作してください。

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイに契約していない場合は、自動的にお断りを設定することはできません。
- キャッチホンでの通話中は、迷惑電話ボタンを押しても、お断りの機能は働きません。
- 電話をかけたときは、「メッセージでお断り」を設定することはできません。
- 子機で通話中に、親機から「メッセージでお断り」を設定することはできません。子機で操作してください。